

坂出郵船組

鋼材荷役に本格参入

倉庫新設、月5000トン目指す

【坂出】港湾荷役の坂出郵船組（本社＝香川県坂出市、綾政彦社長）は坂出港・林田地区に倉庫を建設し、鋼材の取り扱いに本格参入する。新設する倉庫は7月の稼働開始を目指す。投資額は約3億5000万円。当初は厚板、形鋼、鋼管などを月2000トン扱い、数年後をめどに5000トンまで引き上げる計画。将来的には倉庫の増設なども視野に入れており、鋼材荷役を主力事業の一つとして育てていきたい考えだ。

同社は食塩や穀物、飼料、石炭などを中心に港湾荷役を手がける。鋼材荷役は10年は

ど前から香川県丸亀市の自社岸壁に隣接するヤードで厚板、コイル、形鋼などを月1000

トン程度扱い、ノウハウを蓄積してきた。坂出市に製造拠点を置く三菱化学向けの資材など

JFE物流から委託

を取り扱うため、安全管理や社員への研修を徹底し、高いレベルの安全作業を実現しているのも特長。

新倉庫では委託契約を結んだJFE物流が四国に輸送する、JFEスチールなどが製造した鋼材を月2000トン扱う。これまで高松港で水切りを行い、丸亀市や坂出市へ運んで

いたが、倉庫の新設で物流の効率化を図ることができるといふ。近隣には今治造船や川崎重工など大手メーカーの製造拠点が立地しており、鋼材需要は高い。

倉庫は自社の保有する約2万平方メートルの敷地に建設する。これまで原木の荷役に使っていたが、2015年に扱

万トクラスの大型船も入船できる。

約5000トの鋼材保管能力を見込んでおり、早期に扱い量を能力いっぱいまで増やしていく。今後JFEスチールだけでなく、高炉メーカーや大手電炉メーカーなどの鋼材も取り扱っていきたい考えだ。倉庫建設後も敷地に余裕があるため扱



倉庫完成予想パース

い量の増加に
期、3期工
張も念頭に置
く。綾社長は
「まずは社員
一丸となって
月5000ト
の扱いを目指
す。坂出港の
振興にもつな

げていきたいと話す。
坂出郵船組は1889年(明治22年)創業。創業当時は坂出で栄えていた塩業のため、食塩の輸送を主力事業としていた。1921年に日本郵船の特約代理店となったのを機に、社名を坂出港運組から改称。2016年5月期の売上高は6億7000万円。



綾社長